SHIMONOSEKI SHIMO LOVE シモラ部

古代エジプト・ふしぎ発見！開催2日前に突撃取材

市立大学SCU 地域魅力拡散し隊

芸術文化の創造と振興の拠点「美術館」を訪問し、普段は見ることができない、特別展の準備風景などを取材しましたので、皆さんにシェアします。

10月19日（日）まで開催される特別展「古代エジプト・ふしぎ発見！」は、岡山市立オリエント美術館との共同企画で、1年半もの歳月をかけ、実現したそうです。渡邉祐子学芸員は**「別々の美術館に所蔵されていた一家の副葬品の人形が再会した展示は見どころです」**と笑顔で話します。

学芸員さんたちは、搬入した展示品の状態に変化がないか、光を当て入念に確認していました。そして、入館者の感性を最大限に刺激できるように土台の高さを調整したり、照明の種類を指示したりする姿が印象的でした。

美術館は、**芸術を愛する人だけが鑑賞しに行く場所ではありません**でした。ポップなイラストで楽しく歴史・文化を学べたり、ミイラ作りの香りで古代エジプトを感じられたりする工夫もありました。皆さんも、エジプトの神秘を体感してみてはいかがでしょうか！

取材の様子

展示品の状態を確認

一家勢ぞろい

下関限定クッキー登場

展示品の荷ほどき

土台の高さを調整

神秘的な香りを再現

開会式（9月9日撮影）

IKEDA KAZUKI

community-reactivating 地域おこし協力隊 SHIMONOSEKI cooperator squad

下関市地域おこし協力隊員は9人です（9月12日現在）

豊浦地域　池田 一輝 隊員（いけだ かずき）

令和5年8月に地域おこし協力隊として着任。木工・写真・コーヒーの3つを軸に、ものづくりや表現活動を展開する。
「豊浦町での暮らしそのもの」を魅力として発信することを目指す。

豊浦の時間。
木と光と香りと。

市内産の木材を使って、額縁やコーヒードリッパーなどの木工作品を手作りしています。最近、木の魅力を伝えたくて、誠意小学校の児童たちとワークショップを開催しました。木に触れ、道具を使い、自分の手で作品を完成させたときの子どもたちの笑顔を見て、私も思わずうれしくなりました。

また、写真を通して地域の魅力を伝える活動もしています。宇賀地区で毎月発行されている「本郷風たより」では、私が撮影した地元の魅力を掲載しています。このコラムでも、少しだけご紹介します（右写真）。さらに、コーヒーの焙煎にも取り組んでおり、イベントへの出店を通じて、世代を超えた交流の場が生まれていることを実感しています。

来年7月には、地域おこし協力隊の任期を終えますが、退任後に**「下関でどのように暮らしていくのか」を考えると楽しみ**で仕方ありません。